



# ケアマネ・ポート

KYOTO CARE MANE PORT

## Contents

- 2 会長就任のご挨拶
- 3 副会長就任のご挨拶  
令和3年度公益社団法人京都府介護支援専門員会定時総会ご報告
- 4 新体制で動き出しました
- 5 新任理事、ブロック委員の紹介(令和3年6月19日～令和5年度定時総会まで)
- 6 第15回一般社団法人日本介護支援専門員協会全国大会 in 山口
- 7 ケアマネジャーとして知っておきたい2022年度診療報酬改定  
— 入退院支援評価の行方 —
- 8 事務局からのお知らせ／編集後記



## 会長就任のご挨拶

公益社団法人 京都府介護支援専門員会 会長 井上 基

2021年6月19日の定時総会にて、引き続き会長を務めることになりました井上基です。新執行部（会長、副会長4名、常任理事3名、理事12名）総勢20名が丸一となって、本会の発展と会員の皆様のために精一杯努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年4月の介護報酬改定による混乱が現場にはまだまだ残っていると思います。居宅介護支援の基本報酬増額や通減制の緩和、感染対策・業務継続に向けた取組の強化、利用者への説明・同意等に係る見直し（署名・押印の省略）など、どれも私たち介護支援専門員の業務に大きな影響を与える内容ばかりでした。特に私が注目するのは、「看取り期におけるサービス利用前の相談・調整等に係る評価」です。先行して実施されていた新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例的取扱い（実績が生じない場合でも居宅介護支援費の請求が可）が「看取り期」に関しても認められるようになりました。私たちが懸命に支援しながらも、時に報酬上は無償での支援となっていた実践がきちんと報酬として評価される今回の取扱いは画期的なことだと思います。今後は、看取り期に限らず、こうした直接評価されてこなかった介護支援専門員の業務に対する対価がきちんと報酬として請求できるよう継続して国に対して働きかけていかなければなりません。算定要件には不明瞭な点もあるため、さらなるQA等の発出が待たれるところではありますが、今後につなげていくためにも、しっかりと実績を積み重ねていく必要があるでしょう。

今、私はこの「挨拶文」を東京2020オリンピックの閉会式を横目で見ながら書いています。未曾有の災禍である新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的流行）の中での開催に様々な賛否はありましたが、この大会はある意味でWITHコロナの新時代に入ったことの象徴でもあるのではないのでしょうか。感染症に最大限の注意を払いながらも、あらゆることを継続・再開していかなければなりません。介護支援専門員の実践についても同様です。WITHコロナ下でのニューノーマルなケアマネジメントのあり方は私たち自身が生み出し作り上げていくしかありません。

当然のことですが、新型コロナウイルス感染症だけでなく、私たちの社会には、認知症、看取り、貧困、8050、ダブルケア、ヤングケアラーなど待ったなしの課題が山積しています。広く社会から必要とされる専門職であるためには、それらの課題を常に意識し介護支援専門員だからこそ果たせる役割を発信し続けることが重要です。そのためには、国、都道府県、市町村、それぞれに対してきちんと向き合い、是々非々で議論していく必要がありますが、本会だけでは十分にその責を果たすことができません。その意味で日本介護支援専門員協会及び府内の市町村支部との一本化も急務であると考えています。

会員の皆様と一緒に2年の任期でこれらの課題に取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

## 副会長就任のご挨拶

この度、副会長を拝命しました山下宣和と申します。綾部市に生まれ、育ち、現在も綾部市内で働いております。介護保険制度が始まった平成12年から介護支援専門員として業務につき、本会の前身である、京都府介護支援専門員協議会の発足時から会員として参加し、ブロック委員などを経て今日に至っています。

介護支援専門員が専門職として信頼に値する仕事ができること、市民や府民や関係者に介護支援専門員の仕事を理解してもらうこと、介護の現場で起こっていることをまとめ、伝え、あるべき介護保険制度をともに作り上げるためには、介護支援専門員が一人ではなく、介護支援専門員がつながりあうことが欠かせないと思っています。

今コロナ禍で、「介護支援専門員の孤立が進んではいないか」が気になっているところです。課題は多いですが、井上会長や他の役員の皆さまと力をあわせ、微力ながら取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



山下 宣和

これまでブロック理事2期、選出理事1期、常任理事3期、通算6期12年理事を経て、この度会長より副会長を拝命しました川添チエミと申します。京都府介護支援専門員会も20周年を迎え、職能団体として求められる役割も多くなっています。私は、研修に関する事業と京都市との窓口機能を担当することになりました。

新体制になり各種委員会も開催されています。私はこれまで「常に一生懸命」取り組んできました。最初は副会長になっても私ができることは同じではないかと考えていました。しかしそれではいけないと考えを改め、「縁の下の力持ち」になるよう関わり方を見直すことにしました。「風通しの良い会員参加型の組織づくり」「次世代の人材育成」「介護支援専門員の社会的地位向上」を目指し、会長はじめ役員の方々と協力しながら精一杯努めたいと思っております。よろしくお願いいたします。



川添 チエミ

## 令和3年度公益社団法人京都府介護支援専門員会定時総会ご報告

令和3年6月19日(土)14時から、令和3年度公益社団法人京都府介護支援専門員会定時総会が開催されました。昨年度はコロナ禍で書面決裁となりましたが、今年度はWeb(Zoom)での開催となりました(代議員総数37名のうち、出席者23名・委任状提出者12名で、合計35名により総会は成立)。

冒頭、井上基会長からの開会挨拶に続いて、報告事項の説明を川添チエミ常任理事(現副会長)と小林啓治副会長、山下宣和常任理事(現副会長)より行い、代議員からの質疑応答を経て、入会及び退会規程の改正や、これまでの副会長3名から5名への役員執行体制強化を目的とした定款変更など、すべて原案どおり承認されました(詳細は総会資料をご確認ください)。

今期で退任されることになった松本善則氏(前副会長)、堀田裕氏(前常任理事)、吉田桂子氏(前ブロック理事)、今松一郎氏(前ブロック理事(欠席))、橋本かおり氏(前ブロック理事)、株柳聡子氏(前ブロック理事(欠席))よりそれぞれご挨拶があり、定時総会終了後に開催された理事選任総会では、今回は立候補者が定

員以下だったため無投票で選出理事が選任され、新体制がスタートしました。

ご多忙の中、ご出席いただきました代議員の皆様、ありがとうございました。



(山城ブロック理事 北野 太朗)

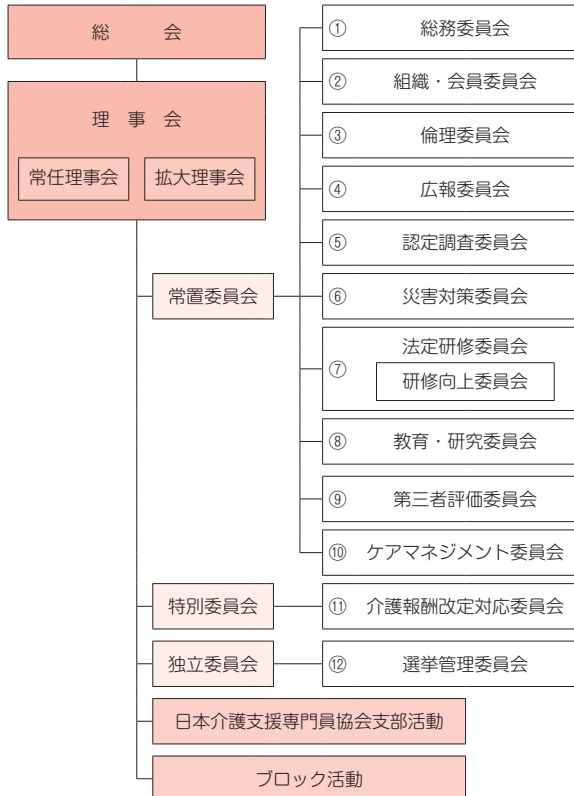
# 新体制で動き出しました

## 令和3年度 公益社団法人京都府介護支援専門員会 役員一覧 (令和3年6月19日～)

会長	井上 基	ブロック理事	佐藤 弓子
副会長	北川 靖	ブロック理事	市原 郁子
副会長	小林 啓治	ブロック理事	北川 裕之
副会長	山下 宣和	ブロック理事	塚田 聡
副会長	川添 チェミ	ブロック理事	荻田 誠
常任理事	甲田 由美子	ブロック理事	西村 聡
常任理事	高木 はるみ	ブロック理事	村上 雅代
常任理事	村上 晶之	ブロック理事	北野 太郎
理事	柴田 崇晴	ブロック理事	山川 淳
理事	中平 克樹	監 事	上原 春男
理事	中吉 克則	監 事	木村 晴恵
		顧 問	清水 紘
		顧 問	福富 昌城
		顧 問	宮坂 佳紀

特任理事 13名

### 組織図



## 委員会一覧

委員会名	所管事項	担当理事
常置委員会		
総務委員会	定款、規程、規約、細則に関する事。 他の委員会の所管に属さない事項に関する事。	小林 啓治 高木 はるみ 村上 雅代
組織・会員委員会	会員組織率の向上・強化に関する事。 賛助会員の入会促進に関する事。 日本協会支部活動に関する事。 相談及び苦情対応に関する事。 府民公開講座に関する事。 周年記念行事に関する事。 日本協会との一本化に関する事。 後援団体等への参加・協力に関する事(医療推進協議会等) 市町村介護支援専門員組織に関する事。 ブロックに関する事。	中吉 克則 北川 裕之 塚田 聡 誠 誠 西村 聡 弓子 郁子 市原 雅代 村上 北野 北野 太郎 山川 淳
京都市介護サービス事業者等連絡会開催支援事業	京都市介護サービス事業者等連絡会開催支援事業に関する事	川添 チェミ 京都市理事
倫理委員会	倫理綱領に関する事。 会員の倫理違反に関する事。 表彰・懲戒に関する事。	柴田 崇晴
広報委員会	本会の広報に関する事。 他団体等からの広報依頼に関する事。 機関誌等の刊行物・メールマガジンの発行、ホームページ等の更新に関する事。 出版物の企画・編集・編纂に関する事。 刊行物の推薦及び幹旋に関する事。	北野 太郎 柴田 崇晴 中吉 克則 西村 聡
認定調査委員会	事務受託法人としての業務執行に関する事。 認定調査員への各種研修に関する事。 介護認定審査会委員に関する事。	高木 はるみ 中平 克樹 荻田 誠
災害対策委員会	介護支援専門員が関わる災害対策に関する事。	柴田 崇晴 村上 晶之 中平 克樹 村上 雅代
法定研修委員会	法定研修全体の統括及び調整に関する事。 実務研修に関する事。 再研修に関する事。 専門研修課程Iに関する事。 専門研修課程IIに関する事。 主任介護支援専門員研修に関する事。 主任介護支援専門員更新研修に関する事。 講師登録及び講師の資質向上に関する事。	中平 克樹 中吉 克則 西村 聡 甲田 由美子 北野 太郎 山下 宣和
研修向上委員会	研修向上(研修及び講師の評価並びに質向上)に関する事。	福富 昌城 河合 悟 藤本 昌人
教育・研究委員会	企画研修に関する事。 法定研修以外の研修に関する事。(市町村等からの受託研修を含む) 調査及び研究に関する事。 京都研究大会に関する事。 近畿研究大会京都大会(2021年度)実行委員会に関する事。	村上 晶之 甲田 由美子 高木 はるみ 市原 郁子
第三者評価委員会	第三者評価(調査・審査等)に関する事。 京都 介護・福祉サービス第三者評価等支援機構に関する事。	甲田 由美子 高木 はるみ 塚田 聡
ケアマネジメント委員会	運営基準に沿った適切かつ標準的なケアマネジメントの検討。 保険者が実施する「ケアプラン点検」に対する支援の企画・提案・運営等に関する事。	川添 チェミ 村上 雅代 北川 裕之 山川 淳
特別委員会		
介護報酬改定対応委員会	・報酬改定説明会(府医)に関する事。 ・クイックマスターに関する事。 ・ブロック別QA説明会に関する事。	村上 晶之 佐藤 弓子 北野 太郎
独立委員会		
選挙管理委員会	理事選挙管理規程における選挙管理委員会に関する事。	小林 啓治

# 新任理事、ブロック委員の紹介 (令和3年6月19日~令和5年度定時総会まで)

今年度から中部ブロックの理事をさせていただくことになりました市原郁子と申します。初めてのことばかりで戸惑うことばかりですが、どうぞよろしくお願いたします。

南丹市園部町で居宅介護支援事業所を立ち上げて今年5月で6年目に入りました。コロナ禍、地域での介護支援専門員の集まりや研修会がオンラインに変化していく中でも介護支援専門員の仕事は利用者や家族と直接顔を合わせ、話を聞いて問題を解決することです。こんな時だからこそ介護支援専門員のつながりを深めることが大切だと思います。介護支援専門員会を通して介護支援専門員同士が密につながることができるように微力ではありますが努力したいと思います。

中部ブロック理事 市原 郁子

京都市南西ブロック理事を拝命することになりました、京都市醍醐・北部地域包括支援センターの西村聡と申します。地域包括ケアシステムの構築において介護支援専門員の資質向上、連携強化は必要不可欠であると認識しております。微力ではございますが当会の発展に力を尽くすことで、これらの課題に

対しまして、私なりに取り組んでまいりたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようひとえにお願い申し上げます。

京都市南西ブロック理事 西村 聡

この度、相楽ブロック理事に就任いたしました山川淳と申します。木津川市中心に居宅介護支援事業所を運営させていただいております。コロナ禍で諸問題が、介護支援専門員だけでなくいろいろなところへ影響を及ぼしているところではありますが、相楽ブロックでは、各市町村のケアマネ会や連絡協議会との研修を通しての交流や多種連携を中心に地域への貢献を考えているところです。

介護支援専門員を取り巻く現状は、介護保険制度の改正がある度に求められる業務が増えているように感じますが、介護支援専門員でなければという領域を作り続け個々の介護支援専門員の意見を集約しながら理事会等にその意見を確実に上げていき反映されるようお手伝いしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

相楽ブロック理事 山川 淳

ブロック	ブロック理事	氏名	所属		
丹後 (宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町)		中垣 直美	夕凧の里 居宅介護支援事業所		
		富田 剛志	宮津市北部地域包括支援センター		
		依田 久子△	総合老人福祉施設 弥栄はごろも苑		
		城下 直子	京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ		
		東 さゆり	丸梅		
		林 恵	居宅介護支援サービス花ちゃん		
		中島 義記◎	特別養護老人ホーム長寿苑		
		小巻 和代	与謝の園居宅介護支援事業所		
		田茂井 久美子	与謝の園居宅介護支援事業所		
		杉山 利正◎	日新地域包括支援センター		
中丹 (福知山市・舞鶴市・綾部市)	佐藤 弓子	大槻 真由美	株式会社 栄光サービスセンター		
		和田 葉子	社会福祉法人福知山シルバーニココ介護支援ルーム		
		志賀 あゆみ	医療法人岸本病院居宅介護支援センター		
		山田 順代	在宅介護支援センター安寿		
		山口 万紀	ふらむはあとリハマネジメント綾部		
		小林 修△	高齢支援センター松寿苑居宅介護支援事業所		
		西村 篤◎	亀岡あゆみ居宅介護支援事業所		
		横田 知之◎	医療法人社団飯野小児科内科医院		
		樹山 紀代	社会福祉法人日吉たには会居宅介護支援事業所はぎの里オアシス		
		吉田 桂子	ほほえみかぐら居宅介護支援事業所		
中部 (亀岡市・南丹市・京丹波町)	市原 郁子	藤岡 嗣朗	藤岡五ヶ荘診療所		
		松下 順子△	特定非営利活動法人まごころサービスあい愛		
		小森 佳子	グループホーム「わたしの親元」		
		酒田 智	美山やすらぎホーム		
		清水 真弥	ほほえみ八木居宅介護支援事業所		
		近藤 和美◎	支援センターひなたぼっこ		
		家村 薫	京都市東野地域包括支援センター指定介護予防支援事業所		
		浅井 雅久	居宅介護支援センターまごのて北山		
		井上 知子△	市田医院介護支援事業所		
		鍋割 哲哉◎	京都市左京南地域包括支援センター		
京都市北東 (北区・左京区)	塚田 聡	表 直美	三幸会生活サポートセンター・ケアプラン事業所北山		
		奥田 栄穂◎	十四軒町の家 小規模多機能ホーム		
		布施 美幸	クローバー居宅介護支援サービス		
		門脇 郁代	七生会居宅介護支援事業所		
		藤原 祥子	らぶいあんるーす居宅介護支援事業所		
		出嶋 女子△	医療法人トキワ会居宅介護支援事業所リーベン嵯峨野		
		石川 昭枝	京都生協右京ホームヘルプサービス		
		森口 育彦	ステーションイルカ		
		京都市北西 (上京区・中京区・右京区)	北川 裕之		

氏名の後の◎は委員長、○は副委員長、△は会計を表す。

ブロック	ブロック理事	氏名	所属
京都市南東 (東山区・下京区・山科区)	刈田 誠	清水 彰子△	有限会社ケアサービス信愛
		永峰 葉子	京都久野病院介護支援センター
		福田 二三枝	公益社団法人信和会訪問看護ステーションどんぐり
		鹿岡 浩子	貞教居宅介護支援事業所
		庄司 千裕◎	医療法人財団康生会武田病院
		山本 喜則	ウイラ山科居宅介護支援事業所 清水焼団地センター
		内海 正広◎	アビイロードやましな居宅介護支援事業所
		吉田 典子	なざさケアプランセンター
		岩城 誠香	吉祥院老人デイケアサービスセンター居宅介護支援事業所
		刈谷 庸平◎	居宅介護支援事業所 ビハラー十条
京都市南西 (南区・伏見区・西京区)	西村 聡	中井 雄亮	城南ホーム居宅介護支援事業所
		長澤 圭祐	居宅介護支援センターまごのて伏見
		中藤 正一	社会福祉法人健光園高齢者福祉総合施設ももやま
		木村 みほ◎	居宅介護支援事業所 アイライフ
		小林 友恵	京都市深草・北部地域包括支援センター指定予防支援事業所
		福田 信美	介護老人保健施設 深草京しみず
		木村 眞澄	小規模多機能型居宅介護のしい家醍醐
		山岸 敦	京都市西京・南部地域包括支援センター指定予防支援事業所
		澤田 千浩△	居宅介護支援事業所オーバル
		小島 真弓	西山寮介護支援センター
乙訓 (向日市・長岡京市・大山崎町)	村上 雅代	高橋 あづさ	ケアプランセンター大枝美郷
		池田 弘子△	ケアプランセンター ライフアーチ
		八木 仁美◎	居宅介護支援事業所天神の杜
		南本 宣子	済生会京都府病院居宅介護支援事業所
		濃田 咲子◎	社会福祉法人大山崎町社会福祉協議会
		田中 利文◎	一般財団法人宇治市福祉サービス公社 広野
		澤井 由美	東宇治北地域包括支援センター
		中村 升美	社会福祉法人城陽市社会福祉協議会居宅介護支援事業所
		林 扶仁子	京都八勝館居宅介護支援事業所
		松尾 洋	JA京都やましろ介護サービスセンター
山城 (宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・久御山町・井手町・宇治田原町)	北野 太郎	植村 早織△	ケアプランセンター大江美郷1エソク山ひしの里
		新井 京子◎	ケアプランセンターかおり
		田邊 伸良◎	つかさ社会福祉士事務所
		平島 淳司◎	ソーシャル・サポートきづがわ
		早川 幸代	木津川市社会福祉協議会ケアセンターハッピーコースト居宅介護支援事業所
		小島 みゆき△	笠置町指定居宅介護支援事業所
		米田 政弘	社会福祉法人和楽会 和楽会居宅介護支援事業所
		西林 亜希	高齢者総合福祉施設神の島 精華町北部地域包括支援センター
		絹谷 直樹	医療法人竹澤内科小児科医院居宅介護支援事業所
		相楽 (木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山村)	山川 淳

# 第15回一般社団法人日本介護支援専門員協会 全国大会in山口

2021年8月28日(土)～29日(日)に第15回一般社団法人日本介護支援専門員協会全国大会in山口がオンラインで開催されました。

## 1日目

### <開会セレモニー>

鳥根県、岡山県、広島県、山口県の順に県の観光名所や伝統芸能、名産物などが動画で紹介。懇親会があればアトラクションや郷土料理を楽しめたのだろうと想像が掻き立てられる内容でした。

### <基調講演>

講師 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課  
課長 笹子 宗一郎 氏

介護報酬改定の概要、全体で+0.7%の改定率の中で、特に居宅介護支援の基本報酬について他のサービスに比べて大きな上げ幅になった背景には、介護支援専門員の役割が評価されていること。BCPに関する説明の中では、災害対策基本法等の一部が改正され、市町村には個別避難計画の策定が努力義務化されており、介護支援専門員には福祉専門職としてそれらの計画作成への協力や連携、参画が期待されているなどの説明がありました。

### <記念講演> 「対人援助の本質を問う！」～原点回帰～

講師 前日本女子大学人間社会学部社会福祉学科  
教授 渡部 律子 氏

「ケアマネジャーは果たして対人援助職なのか?」「相談援助職として省エネに思える仕事は長期的には省エネにならない」「忘れがちであるが、自分の中に湧いてくる感情にも耳を傾ける」等印象的なフレーズが多くありました。表彰されたケアマネ川柳や一般社団法人日本介護支援専門員協会会長柴口里則氏からの活動報告の内容にも度々触れられ、講演資料だけでなく多くの付属資料まで提示されたとても贅沢な時間でした。

### <シンポジウム> 「あと一步前に進むために」

座長 一般社団法人山口県介護支援専門員協会  
副会長 岩神 亜紀 氏

助言者 前日本女子大学人間社会学部社会福祉学科  
教授 渡部 律子 氏

5人のシンポジストによる報告、シンポジスト同士に

よる質疑応答の後、渡部氏がそれぞれのシンポジストにキャッチコピーを付けるという面白い構成でした。

## 2日目

<分科会> (第2～第4分科会は後日の動画配信)

### 第1分科会 対人援助の本質を深める(ケアマネジメント・スーパービジョン)

座長 一般社団法人山口県介護支援専門員協会  
副会長 橋 康彦 氏

助言者 久留米大学文学部社会福祉学科  
教授 片岡 靖子 氏

第1分科会では、京都で医療ソーシャルワーカーをされていた久留米大学の片岡氏が助言者を務められました。

片岡氏の「介護支援専門員としてのアカウントビリティ(説明責任)は利用者に対するものだけでなく、個人の実践を研究発表等を通して言語化することで社会に対して説明責任を持つことになる」との言葉に改めて身が引き締まる思いをしました。

### <教育講演> 医療・介護連携によるベストエフォート型ケアマネジメントの構築

講師 一般社団法人広島県介護支援専門員協会  
会長 落久保 裕之 氏

外科医でもある落久保氏の講演は、「なぜ手術はだれとやっても同じように展開できるのだろうか?」と若い頃に感じた疑問、それが手術ごとに標準的な手法が全て決められおり、その手法を全ての医師・関係職種が学んでいるから異なるメンバーでチームを組んでも戸惑うことがないと気づいた話から始まりました。

その話題が、落久保氏が日本介護支援専門員協会で常任理事をしていた時代に取り組んだ「適切なケアマネジメント手法」の誕生秘話やその後の経過に繋がっていき、最後には、「適切なケアマネジメント手法」がベストエフォート(最大限の努力)型のケアマネジメントの実践の一助になるという内容でした。

### <閉会式>

NHKのプロフェッショナル仕事の流儀を模した動画が音楽とともに流れ、新型コロナウイルス感染症の拡大により翻弄され様々な変更を余儀なくされた大会実行委員やスタッフの苦労が垣間見え感動しました。

(会長 井上 基)

# ケアマネジャーとして知っておきたい 2022年度診療報酬改定 —入退院支援評価の行方—

2022年4月は2年に1回見直しされる診療報酬改定を控え、2024年4月には介護報酬との同時改定が予定されている。同時改定では、高齢者数がピークを迎えると推計される2040年への備えという視点で見ると、2024年度の介護報酬改定にも影響があると言っても過言ではない。現時点では具体的な評価の行方は明確ではないものの、急性期・回復期・慢性期入院医療の課題や論点について、厚生労働省の中央社会保険医療協議会で活発な議論が進んでいる。その他外来、在宅ではこれまでと同様に「かかりつけ医機能強化」という視点で課題が提示されている。ここでは入院診療報酬の共通項目である「入退院支援の評価」についてポイント整理し、病院の入退院支援部門（地域連携室）が抱える課題を紹介したい。

## 居宅介護支援費の入院時情報連携加算、退院・退所加算とリンク —診療報酬の入退院支援加算とは—

居宅介護支援費の入院時情報連携加算、退院・退所加算は、2021年度介護報酬改定では算定要件などの大きな見直しがなかった。入院時情報連携加算は、2018年度診療報酬・介護報酬同時改定時に、入院後3日以内または7日以内の情報提供が要件化された。併せて同時改定時に診療報酬の入退院支援加算の要件見直しもあり、3日以内、7日以内に退院困難患者の抽出などが定められた。診療報酬の入退院支援加算は1と2に区分されそ

れぞれ急性期、慢性期で点数格差がある。なお、居宅介護支援費の入院時情報連携加算は入退院支援加算届出の有無に関わらず算定可能だ。入退院支援加算1では地域の居宅サービス事業所や医療機関20機関以上を定め、年3回以上のカンファレンス開催やケアマネジャーとの連携実績も要件化されている。人員配置でも2病棟に1名以上専任看護師または社会福祉士の配置が必要となっている。

## 退院が困難な理由や本人・家族の希望に合わない理由 —病院の地域医療連携室が抱える課題—

厚生労働省が実施した2020年度入院医療等調査結果によると、退院できない理由は、「本人・家族の希望に合わない」「入所先の施設の事由により退院先の確保ができていない」「全体の調整・マネジメントができていない」との回答が多数を占めた。このうち「本人・家族の希望に合わない」と回答した理由をみると、介護に関連する理由が多い。具体的には「自宅に帰った場合、在宅介護等を利用して家族の負担が大きい」「家族が患者と同居できない」「家族が患者と同居可能だが、日中不在がち」「家族が患者と同居可能だが、家族の健康状態が不良」「家族が患者と同居可能だが、患者との関係が良好ではない」とつづく。その他「自宅に帰った場合の医学的管理に不安を感じている」との理由もあるが、「自宅に帰った場合の地域の医療サービス（訪問診療・訪問看護）に不安を感じている」「地域の介護サービス（訪

問介護等）に不安を感じている」との回答は意外と少ない。また「医学的には外来・在宅でもよいが、他の要因のために退院予定がない」と回答した事例で退院後に必要な支援としては、「食事・排泄・移動等の介護」の割合が多かった。次いで訪問看護や訪問リハビリテーション、買い物・清掃・調理等の家事的補助、医療処置、通院介助、訪問診療となっている。独居高齢者が抱える課題は、病院地域連携室もケアマネジャーも同じということが見て取れる。これらの課題解消策へのアドバイスなどを行うことは、ケアマネジャーの腕の見せ所だろう。加えて、病院地域連携室職員からケアマネジャーに正確な情報を、早期に伝えることも在宅医療・介護サービスへの移行促進策であるはずだ。

（顧問 宮坂 佳紀）

## 事務局からのお知らせ

### ■ 口座振替手続きのお願い

会費のお支払いは口座振替をお願いしております。手続きがお済みでない会員様で口座振替をご希望される場合は、事務局へご連絡ください。

### ■ 会員情報の更新について

現在ご登録いただいている会員情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス・勤務先等）に変更がある場合は、同封の異動届をご提出ください。当会ホームページの入力フォーム（<http://www.kyotocm.jp/contents/transfer/>）からの送信も可能です。

なお、本年度で退会をされる場合は、手続きの都合上1月末までに退会届のご提出をお願いいたします。

住所・氏名・勤務先等の異動届



### ■ メールマガジンのご案内

メールマガジンは介護保険や医療保険の制度関連の最新情報のほか、当会が実施する企画研修の案内や介護支援専門員にとって必要な情報が満載です。当会ホームページ「メールマガジン申込フォーム」からお申込み、または「mail@kyotocm.jp」宛にメールにてお申込みをお願いします。（携帯電話のメールアドレスをご登録される場合は受信拒否設定の解除、「mail@kyotocm.jp」からの受信許可設定をお願いします）

宛先 mail@kyotocm.jp

件名 メールマガジン希望

本文 会員番号／氏名／配信希望メールアドレス

## 編 集 後 記

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々なことが変化していますが、変化しながらも継続されていることも多くあります。言い方を変えれば今までしていたことを継続するために、形を変えていると言えます。その中の一つに、Webを活用した研修や研究大会の開催があります。元々その地へ赴き、現地のおいしいものを食べることを楽しみにしていた私としては、なかなか馴染めない部分ではありますが、今年度の近畿ブロック研究大会は京都で行われますので、Webを通して各地の介護支援専門員の方々と交流していきたいと思えます。

(広報委員長 中嶋 優)

### 京都ケアマネ・ポート67号

2021年10月1日発行

発行人：井上 基

広報委員長：中嶋 優

広報委員：北野 太朗 柴田 崇晴 中吉 克則 西村 聡 橋本 かおり 河東 大樹 濱頭 香里 山下 宣和

発行元 公益社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 京都府立総合社会福祉会館7階

TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971

E-mail: info@kyotocm.jp URL: <http://kyotocm.jp/>

京都銀行 府庁前支店 普通口座 4151049 シャ) キョウトフカイゴシエンセンモンインカイ